

議 事 録

会議の名称	第4回三田市総合計画審議会
開催の日時	令和3年9月29日(水) 18時30分～20時40分
開催の場所	オンライン会議
出席した委員の氏名	中瀬会長、角野副会長、赤澤委員、馬場(美智子)委員、中村委員、田邊委員、足立委員、清水(陽子)委員、和田委員、古田委員、長谷川委員、清水(浩一)委員、大東委員、寿賀委員、奈良委員、里中委員、的場委員、馬場(路子)委員、川原委員、小谷委員、吉田委員、福田委員、小林委員、岡田委員、岸本委員、合田委員、大坂委員、川邊委員、高崎委員、小川委員、藤田委員
欠席した委員の氏名	下中委員、坂場委員、武田委員、佐藤委員
出席した庶務職員の職及び氏名	濱田副市長、高見副市長、西田経営管理部長、甲斐地域創生部長、印藤地域創生部参事、久高まちの再生部長、古川上下水道部長、田中市長公室長、中田市長公室参事、太田政策課長、山谷総合計画策定担当課長、靱井政策課係長、森谷政策課主任、志水政策課事務職員
その他出席者	なし
傍聴者の人数	1名
議 題	(1) 基本構想修正案について (2) 基本計画修正案について
会議の概要(結論)	(1) 基本構想修正案について事務局から説明し、意見交換を行った。 (2) 基本計画修正案について事務局から説明し、意見交換を行った。
公開・非公開の区分	公開
使用した資料	審議会次第 資料15 基本構想修正案 資料16 基本計画修正案(一部) 資料17 総合計画審議会における意見と対応(一部)
連絡先	市長公室政策課 電話(079)559-5038 内線(2211)

1 開会

<田中市長公室長の司会により開会>

2 議事

(1) 基本構想修正案について

<事務局から資料に基づき説明>

会長：審議会も4回目となり、まとめの段階となっている。原案を確認し、どうすれば良くなるかといった趣旨でご発言をお願いしたい。1点質問だが、資料15の30ページに「多様な人財」とあるが、表現はこれでよいか。

事務局：人を大事にするとの思いで「人財」と表記している。

委員：資料15の34ページに「健康づくり」とあるが、だれに対しての「健康づくり」なのか。また、

高齢者への配慮が書かれていない。

同じページに「地域医療の安心」とあるが、「地域医療が充実していることでの安心」ではないか。また、「生活の安全安心・非常時への備え」とあるが、非常時への対応や体制が整っているから安心安全につながるのではないか。

事務局：『ひと』のチカラを育み、生きるまち ～輝く人づくり～では、生まれてからの成長していく過程で人を支えていくための施策を書いている。「支えあい、安全安心に暮らせるまち ～やすらぎづくり～」では、成長過程で起きる困難、必要とされる手助けを行っていく施策、精神面での安心安全に係る施策を書いている。表現等については検討する。

委員：資料 15 の 35 ページにある、ウ『「ひと」「まち」「さと」を活かすまちづくり』の①と②について、順番を逆にした方が良いのではないか。①「デジタル技術を活かしたまちづくり」は、手段であって②『「まち」と「さと」を活かすまちづくり』が本質であると思う。

同じ資料の 41 ページの基本目標 1 の②で、「市内で働き、活躍できる場をつくる」とあり、働く場が市内、市中心部に限定されているように見えるので変更して欲しい。農業や新規就農といった働く場についても書いて欲しい。

事務局：記述については検討する。市内の表記は三田市内全域のことを指しているがわかりやすいように検討する。

委員：資料 15 の 34 ページにある『「ひと」のチカラを育み、生きるまち ～輝く人づくり～』の取り組む施策で、子どもが主体となるまちづくりといった表現をして欲しい。

事務局：ここでは基本計画のタイトルについて書いている。具体的な施策の中身は、基本計画の議論の際にご意見頂きたい。

副会長：「子どもが主体となるまちづくり」といった表現はどうか。取り組む施策の上で書いてある説明文の中で、ニュアンスがわかるように工夫してはどうか。

事務局：ここで書いている取り組む施策は基本計画のタイトルなので、説明文などで検討させて頂きたい。

委員：(3)まちづくりの視点について、考え方を理解してもらうために整理してはどうか。まず自然資本、環境があり、その上で経済があって支え合って回していくといった構成にしてはどうか。例えば、ウの最初に書いてある 3 行は、全体に係ることなので、前文に移動させる。自然資本にあたるイは、最初に移動させる。社会はアにあたる。経済についても追加する。

会長：資料 15 の 34 ページにあるキーワードとの関連性はどうかお考えか。

委員：キーワードが多いので整理は必要かと思うが、三田版 SDGs として設定したうえで振り分ける方法もある。

会長：資料 15 の 31 ページの最初の前文とイの最初の 3 行は重複している部分もあるので、整理してはどうか。

委員：資料 15 の 35 ページのウ②に、「多様な農業、農家の支援」といった表現を追加いただきたい。

農に関わる様々な機会の創出や新規就農しやすい環境づくりについて書いてあるので、就農後の支援も必要ではないか。

事務局：基本構想なので、方向性を示している。詳細については、基本計画に記載している。

会長：農業の活性化や持続性等との文言入れてはどうか。

事務局：資料 15 の 35 ページの最後にある「農業の活性化」の言葉に合わせて持続性についても追加する。

委員：外国人の活躍について、基本構想のどこかに入れてはどうか。

事務局：資料 15 の 31 ページのアの中 4 行目に間接的に表現している。基本計画にも多文化共生について記載している。

委員：外国人の人権について触れられている部分はあると思うが、今後少子高齢化で人口減となり外国人比率が高まるとみられる中、市民生活の担い手としての外国人といった表現あれば良いかと思う。

事務局：表現等について検討したい。

会長：有馬富士公園内にある福島ナツツバキ個体群は、三田の特徴として資料 15 の 4 ページ等に入れてはどうか。

事務局：検討する。

(2) 基本計画修正案について

会長：10 施策について、5 施策ずつ 2 回にわけて説明をお願いします。

＜事務局から資料に基づき、①商工業の振興、②観光・交流・文化の振興、③まちの再生、④良好な住まい、⑤交通ネットワークについて説明＞

委員：「17 観光・交流・文化の振興」について、「市の取り組み」②について「おもちゃ箱の中はワクワク・ドキドキがいっぱい」といった特異な見出しになっている。表現としてはわかりやすいので、もし使うのであれば、他の施策も同じように表現を統一してはどうか。

委員：「15 商工業の振興」について、事業承継を「市の取り組み」⑥の文面に入れてもらっているが、事業承継だけでなく、次世代につなげていく、ハコだけでなく、ソフト面などの技術を若者に継承していくといった視点を入れてはどうか。例えば「市の取り組み」⑥に「円滑な事業承継に取り組みます」とあるが、「世代間交流で維持していきます」といった表現を追加してはどうか。

事務局：表現について検討する。

会長：農業でも同じことが言える。ウドも絶命寸前なので、いかに継承していくか。

委員：「15 商工業の振興」について、事業者・団体等の取り組みに、高齢者や障害者の文言の後に外国人を追加してはどうか。また、「市の取り組み」⑥の女性、高齢者の文言の後に外国人入れてはどうか。

「17 観光・交流・文化の振興」について、「3 10 年後に目指したい三田の状況」E で楽しむだけでなく、来た人に三田の良いところを発信してもらおうといった表現を入れてはどうか。

委員：「19 良好な住まい」について、「市の取り組み」⑤地震の耐震性のことだけ書かれているが、風水害にも多少触れてはどうか

事務局：良好な住まいということで、住宅に対する対策として耐震化について特化して記載している。

委員：住宅の耐水化や耐火についても今後出てくるかと思う。施策との関連もあるので、耐震に特化するのも良いかと思う。

会長：「市の取り組み」⑤の災害などといったタイトルを、今事務局が説明して頂いた内容や趣旨に合うものに変更してはどうか。

委員：「20 交通とネットワーク」について、「3 10 年後に目指したい三田の状況」E に書いている内容をもう少し具体的にして充実させてはどうか。

事務局：表現について検討する。

委員：「19 良好な住まい」について、耐震診断も書かれているが、家のメンテナンスについても追加して欲しい。家が良好に維持されているといった視点が必要かと思う。

事務局：ご指摘の通り、日頃からの点検は必要かと思うので、市として周知するなどの内容について追加する。

委員：「17 観光・交流・文化の振興」について、姉妹都市交流にも触れてはどうか。

事務局：検討する。

＜事務局から資料に基づき、⑥水の保全、⑦里山・自然の保全、⑧持続可能な環境づくり、⑨協働・共創のまちづくり、⑩行政経営について説明＞

会長：施策 21 水の保全から以降の施策について、ご意見お願いしたい。

委員：「22 里山・自然の保全」について、市民の取り組みにある社会生活におけるトラブル防止に努めるとあるが、里山・自然の保全とどのようなつながりがあるのか。

事務局：「22 里山・自然の保全」「市の取り組み」④に里山と生活の調和を図る住民の相互理解とあるように、野外焼却等について市民としても理解に努めていくといった意味合いで記載している。

会長：説明いただいてわかったが、現在の文言ではわかりにくいので、表現など工夫してはどうか。

事務局：表現について検討する。

委員：「協働・共創のまちづくり」について、「3 10年後に目指したい三田の状況」Cで公益といった表現が唐突に出てきて違和感がある。共創の意識の下に、といった表現の方がわかりやすいのではないかと。市民の取り組みについて、「4 市民の取り組み」について、同じ文中の中で「自分のできる事」「自ら」といった同義の言葉が使われているので、「自ら」は不要ではないか。

事務局：ここで公益を入れたのは、地域づくりとの表現を公益と表現したが、表現等について再検討する。

会長：句点が少なく読みづらいので、工夫されたい。

委員：「22 里山・自然の保全」について、「市の取り組み」⑥まち並みを演出するといった表現は長いので、削除してはどうか。

委員：グリーンマネジメントさんだ 2.0 の内容に合わせた文言に変えてはどうか。例えば、「環境と調和した」など表現を工夫されたい。

事務局：ご指摘を参考に表現について検討する。

委員：「23 持続可能な環境づくり」「市の取り組み」②に「野心的」との表現があるが、積極的等の表現に変えてはどうか。同施策の「2 10年後に避けたい三田の状況」や「3 10年後に目指したい三田の状況」Dについて、外国人がゴミ出しルールわからなくて問題となっているのでそこを入れてはどうか。

「行政経営」「市の取り組み」⑤の「行政サービスのデジタル化」について、情報弱者への取り組みを追加してはどうか。

委員：「協働・共創のまちづくり」について、既成市街地、農村、ニュータウンなどの地域間のつながりを書いてはどうか。例えば「2 10年後に避けたい三田の状況」で特定の地区内だけで交流がされているというのが避けたい状況で、「3 10年後に目指したい三田の状況」については、多様な地域での交流について記載し、「市の取り組み」⑤も同じようなニュアンスを追加してはどうか。他市との交流については、全体のバランスを見てどこかの施策に入れてはどうか。

副会長：「協働・共創のまちづくり」について、表現が抽象的である。共創のイメージが具体的に伝わ

るようにした方が良い。異なる地域と一緒に取り組みよう表現が大事だと思うので、委員の意見のような形で修正してはどうか。

事務局：表現について検討する。先にご都合で会議から退出された委員より「行政経営」について、「3 10年後に目指したい三田の状況」について、「・・・使いやすく質の高い行政サービスが提供されています」を「・・・使いやすく質の高い市民目線での行政サービスが提供されています」と文言追加をいただきたい旨の意見をいただいている。資料15の32ページ中段の所で、「地域課題を市民の目線にとらえ」と記載させていただいている。基本計画での表現について検討する。

委員：「協働・共創のまちづくり」について、「市の取り組み」②で協働事業提案制度の拡充を軸にとあるが、自治会やまち協などの身近な地域から取り組むようなニュアンスも入れてはどうか。

会長：今のご指摘のところ、文章を「活躍を促します」と区切ってはどうか。

事務局：市民センターが公民館のように、地域の人づくりの支援を進めていくなどといった表現を追加する方向で検討したい。

委員：「22 里山・自然の保全」について、「市の取り組み」⑥に「活用」の文言を入れてはどうか。落葉樹は、有機農家にとっては資源となるので、みどりを減らす方向ではなく、活用するといった視点も重要ではないか。

会長：「20 交通ネットワーク」については、公用車だけでなく、電動サイクルなども入れてはどうか。

「22 里山・自然の保全」について、人博だけでなく、自然学習センターについても書いてはどうか。また、広域ネットワークについて北摂里山博物館についても触れてはどうか。

3 閉会

- ・次回は、10月4日（月）に18時30分から開催する。